

NHKの特番「プロフェッショナル・仕事の流儀 イチロー・スペシャル」(2008年1月2日)でメジャーの「イチロー(ICHIRO)選手」(マリナーズ)の特集を放映していました。イチロー選手と言えば、アメリカのメジャー在籍7年間で毎年200本以上の安打を達成し、首位打者を2回、しかも2004年には84年ぶりにメジャーの年間最多安打記録262本を樹立した最高級のプロ野球選手です。特に安打数の実績は素晴らしく、日本で1,278安打、メジャーで1,592安打(2007年度まで)、日米合計で2,870安打となっています。「安打製造器」と言われた張本勲選手の3,085本を2008年中にも追い抜きそうな記録です。現在34歳、このままいけば4,000安打、イチロー選手は50歳で4割打つのが夢と言っていますので、もしかしたら5,000本(?)も夢ではないかもしれません。イチロー選手は、「打」「守」「走」の三拍子揃っており、日本では7年連続首位打者、ゴールデングラブ賞、ベストナインに選ばれ、盗塁も常に30個以上達成し1度は盗塁王にもなっています。

私は、彼がこれだけの成果を持つ以上、卓越した野球ノウハウを持っているはずだと思い、NHK特番「プロフェッショナル」をメモを片手に熱心に見させていただきました。何年か前に同じNHKの番組でイチロー選手の話聞いた時、私はこの人は哲学者であると感じました。そのため、もっとイチロー選手の野球選手としての匠の技を知り、野球上の成果をいかに創出しているのかを知りたかったわけです。剣の達人・宮本武蔵は剣の道を「五輪の書」で哲学的概念で書いていますが、正に、イチロー選手は野球のメカニズムを知り尽くした野球界の宮本武蔵であり、述べている内容はまるで「野球界の五輪の書」です。

イチロー選手の野球実績は次の通りです。

<日本での打率成績>

(割・分・厘)

	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	平均
打率	253	188	385	342	356	345	358	343	387	3割5分3厘
首位打者	-	-								-

<アメリカでの打率成績>

(割・分・厘)

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	平均
打率	350	321	312	372	303	322	351	3割3分1厘
首位打者		-	-		-	-	-	-

イチロー選手は日本でMVPを3回、アメリカでは1回獲得しています。このような超大選手でも、オリックスにはドラフト4位で入団し、しかも、2年間は全く実績のない無名選手でした。ところが、3年目に大ブレークして3割8分5厘で首位打者になり、7年連続、アメリカを含めると8年連続首位打者になりました。イチロー選手が入団3年目につかんだ極意と、その後の毎年毎年、「過去との決別」による絶えざる革新のノウハウは見事としかいいようがありません。

プロフェッショナルとは、「ファンを圧倒し」「選手を圧倒し」そして「圧倒的な結果を残す」人であると言い、そのためには「ファンが自分の生活の一部を捧げて見に来てくれている。だから、僕も、自分の生活の何かを犠牲にすることは当然のこと」と言い放っています。

私は、すべての分野のノウハウは、どのような分野でも普遍性があると考えています。それゆえに、イチロー選手が野球という分野で自らの独創性で確立したノウハウは、流通業界やS C業界でも応用できます。

このイチロー選手の成果である「野球技術」と「野球に取り組む姿勢」及び「野球哲学」を私なりに述べさせていただきます。

(流通とS C・私の視点(879)へ続く)

(株)ダイナミックマーケティング社³
代表 六 車 秀 之